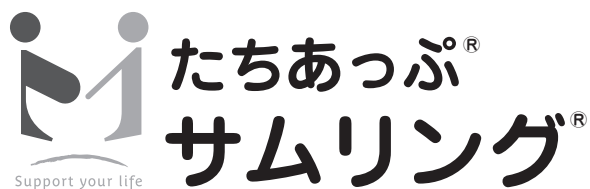


※2024年9月～



取扱説明書

品番

CKM-02
CKM-02W
CKM-04

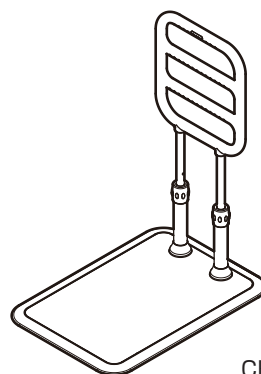
！安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. ご使用方法	4
3. 設置上のご注意	5
4. マット使用上のご注意	6
5. 構成部品	7
6. 各種部品表	8
7. 組立手順	10
8. ご使用前の確認	16
9. お手入れ方法	17

保管用

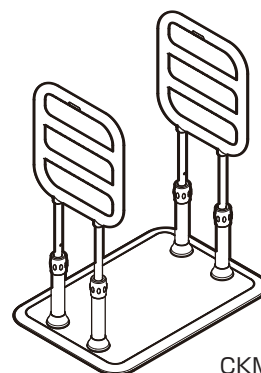
よくお読みください



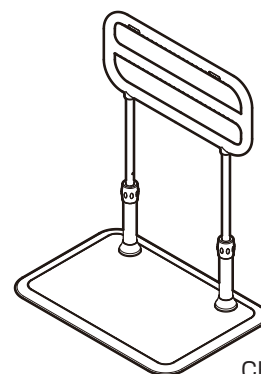
たちあっぷ
サムリング
組立手順動画



CKM-02



CKM-02W



CKM-04

お買い上げありがとうございます

☐ 販売店様

この説明書は必ずお客様に説明してからお渡してください。

☐ ご利用者様

ご使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
⚠ 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. 使用上のご注意

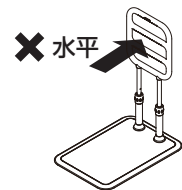
⚠ 警告

●手すり以外の用途では使用しない。

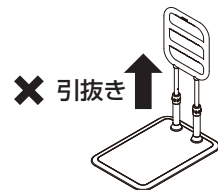
踏み台、いす、はしごなどの用途では使用しないでください。

●ベースに乗っていない状態で必要以上に水平方向に力を加えない。

手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり転倒事故やケガの原因になります。手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。



●手すり引抜き方向に力を加えない。



●子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。

事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、手すりのの上に乗ったりしないでください。

●濡れた手、脚、靴底で使用しない。

滑って転倒するおそれがあります。

●ベースや手すりフレームが濡れた状態で使用しない。

滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。



禁止

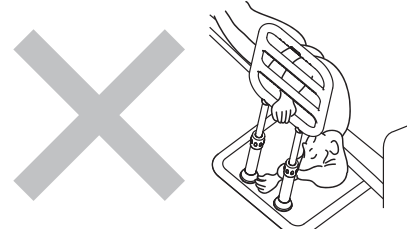
●手すりフレームに頭や手、脚を入れない。

窒息や骨折のおそれがあります。



●手すりフレームとベッドやマットレスとの間に頭や体、手、脚を入れない。

窒息や骨折のおそれがあります。



●予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。

利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。

※重度者（特に介護度4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行った上で使用してください。
 またご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談し、適切な処置を受けてください。

⚠ 警告

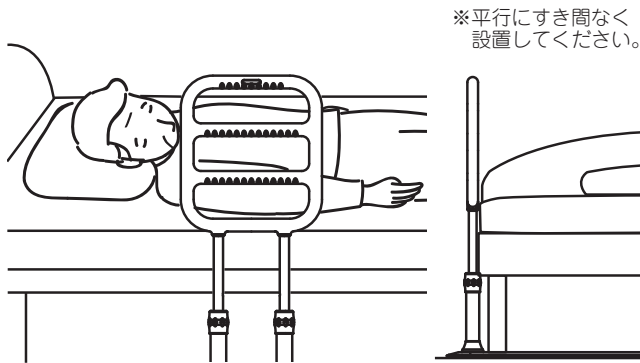
! 必ず守る	●使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。 お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。
	●固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況を確認の上、使用する。 「サムリング」の安定性を向上させるオプション品「ベッドでとまるくん」のご使用をお勧めします。
	●利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止する。 ご使用を再開される場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。
	●車いすから立ち上がりや移乗の際は必ず車いすのブレーキをかける。 車いすが動いて転倒するおそれがあります。 車いすのご使用は、「2. ご使用方法」に従い、CKM-02 のみが使用可能です。
	●ベッドやマットレスの横に置く場合は、寝具との間にすき間ができない状態で使用する。 本製品は固定式ではないため、水平方向の力を加えたり、振動によって設置位置がずれてしまう可能性があります。 寝具との間にすき間が生じると、身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。 常に寝具との間にすき間がない状態で使用してください。

⚠ 注意

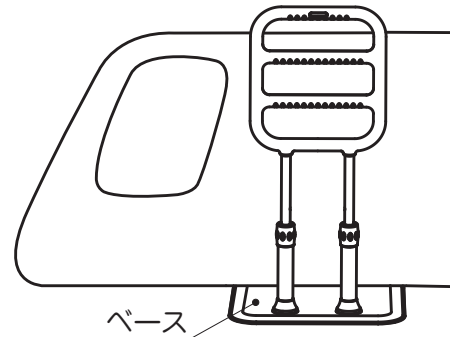
⊘ 禁止	●2人以上同時に使用しない。 本製品は1人用です。
	●利用者体重が100kgを超える場合は使用しない。 使用中に破損するおそれがあります。
! 必ず守る	●使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちに ご使用をおやめください。
	●介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合は十分注意する。
	●布団やマットレスで使用する場合は、ベースを敷布団やマットレスの下に差し込み、 手すりフレームを寝具と平行に設置する。
	●ベッドサイドで使用する場合は「サムリング」の安定性を確認して使用する。 「サムリング」の安定性を向上させるオプション品「ベッドでとまるくん」のご使用をお勧めします。
	●ベッドフレームの下に13mm以上のすき間があるか確認する。 ベッドフレームの下に13mm以上のすき間がない場合、ベースをベッドの下に差し込むことができません。
	●ベースは厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。
	●裏面が平らなスリッパや厚手の靴下での使用は滑る場合があるので注意する。
	●移動させる場合は、ベースを持って移動させる。 手すりやスタンドを持って移動させるとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。また、引きずると床面を傷つけたり、本体が倒れるなどで破損するおそれがあります。
	●結露した場合は乾いた布などで拭き取る。 室内環境によって金属部分に結露が発生するおそれがあります。結露した状態で放置すると布団や畳にカビを発生させたり、製品に錆が発生する原因になります。常に拭き取ってから使用してください。
	●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちに ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

2. ご使用方法

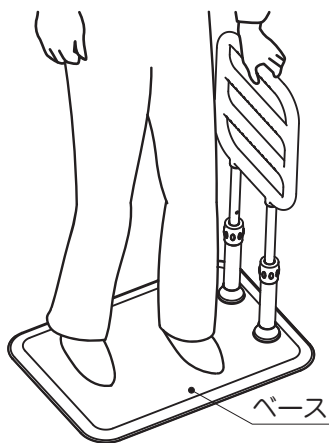
- ベッドサイドに置いて使用する場合は、利用者の肩口付近でベッドフレームに当ててください。手すりフレームはベッドと平行にすき間がないように設置してください。



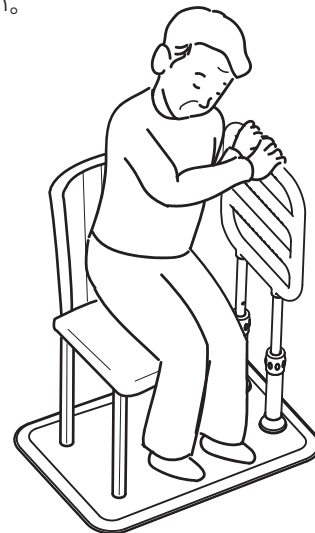
- 布団からの起き上がりで使用する場合は、ベースの半分を敷布団の下面に差し込み設置してください。手すりフレームは布団と平行に設置してください。



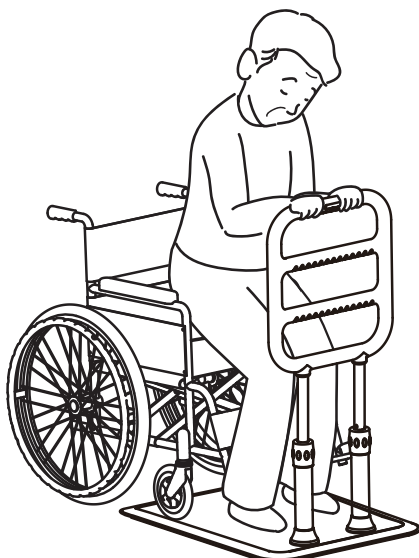
- 立位保持・動作補助の場合は、ベースに乗り、手すりフレームを持ちながら、直近の歩行補助としてご使用ください。



- いすからの立ち上がりには手すりフレームが身体のすぐ近くにくるように設置してください。



- 車いすからの立ち上がりには、ベースに乗り、前方の手すりフレームをつかんで身体を引き上げるようにして立ち上がります。
※車いすからの立ち上がりは「CKM-02」のみ使用可能です。



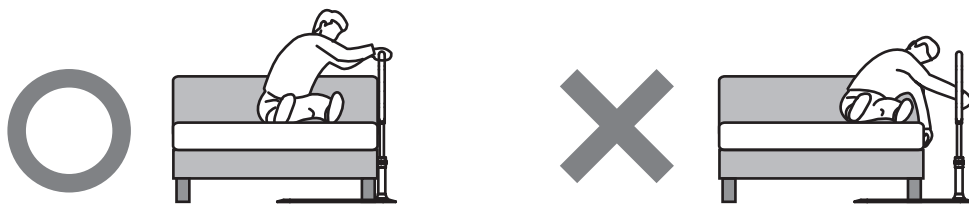
3. 設置上のご注意

⚠ 警告

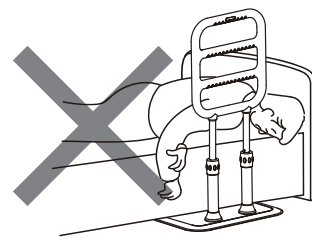


- 弊社製品と他社製品を組み合わせない。
破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- 改造・加工は絶対に行わない。
事故の原因になります。
- お使いの電動ベッドに装着しているサイドレール、介助バーと組み合わせて使用しない。
組み合わせて使用すると、首や手、脚をはさむすき間が生じる場合があります、事故の原因になります。

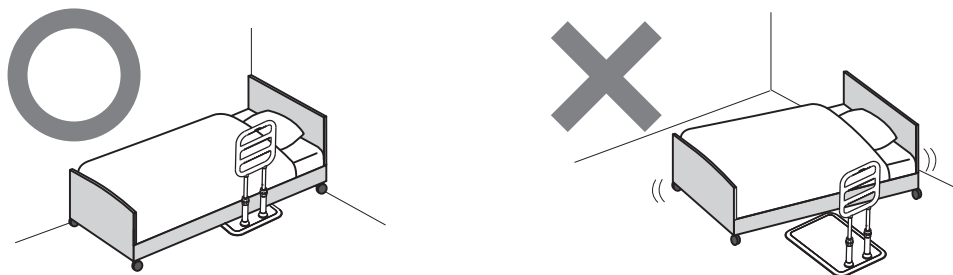
- 設置後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。
- ベッドやマットレスの横に置く場合は、「サムリング」と寝具との間にすき間がないように設置する。
身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。
ベッドの構造によりすき間が生じる場合は、クッション材や毛布などで埋めるなどしてすき間をなくすようにしてください。



- ベッドの構造やマットレスの厚みにより頭や体をはさめるすき間が生じる場合は、クッション材や毛布などで埋めるなどしてすき間をなくす。

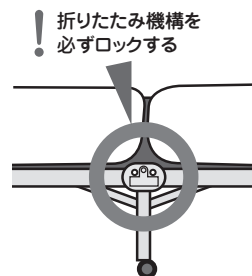


- キャスター付きのベッドで使用する場合は、必ずキャスターを固定する。
キャスターにロック機構がある場合は必ず使用してください。ロック機構がない場合には、キャスターホルダーを使用するなど、必ずベッドが動かないように固定してください。(ベッドは壁に接するように設置すると安定します)
ベッドが固定できないと、使用中にベッドが動いて手すりとベッドの間にすき間が生じるので大変危険です。



- 折りたたみベッドで使用する場合は、ベッドの折りたたみ機構を必ずロックして使用する。

ロック機構のない折りたたみベッドでは使用しないでください。



- 電動ベッドで使用する場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認する。

特殊寝台など、「サムリング」が使用できない場合があります。

- 電動ベッドで使用する場合は、頭や手、脚が入った状態でベッドを操作すると、はさまれて身体の傷害や生命にかかわる事故を発生させるおそれがあるので注意する。

電動ベッドで使用する場合は、利用者の身体がはさまらない安全な間隔で設置してお使いください。また、電動ベッドの手元スイッチは、無意識に触れて誤操作しないように、置く場所に十分注意してください。



⚠ 注意	
	●屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
	●火のそば・熱器具（ストーブ等）の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。
	●水やお湯に濡れる場所では使用しない。 変質や金属部品が錆びるおそれがあります。
	●製品を引きずらない。 引きずると床面を傷つけたり、本体が倒れるなどで破損するおそれがあります。
	●昇降機構のある電動ベッドには、「ベッドでとまるくん」を装着しない。 「ベッドでとまるくん」を装着したままベッドを昇降すると、破損や機能を損なう原因になります。
	●室内で使用する。
	●平らで水平な場所で使用する。
	●組み立て、高さ調整は納入業者が行う。
	●クッションフロア材（塩化ビニル製）などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合があるので、注意する。
	●定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。

4. マット使用上のご注意

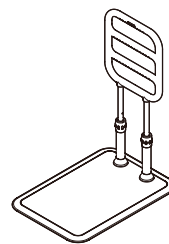
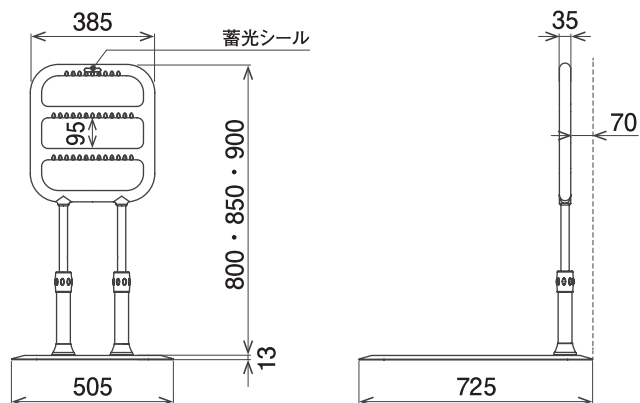
⚠ 注意	
	●「サムリング」のベースに貼り付ける以外の用途では使用しない。
	●マットに跡が付くものや傷をつけるような鋭利なものを載せない。 跡が付いたり破れるおそれがあります。
	●必ずマットを敷いて使用する。 ベースに持ち運びのための取っ手穴があいていますので、つまずいて転倒するおそれがあります。
	●ベースにマットを貼り付けた状態で使用する。使用中にマットがめくれたり、たるみができた場合は整えてから使用する。 マットにめくれたりたるみがあると、つまずいて転倒するおそれがあります。
	●マットは、吸着面保護フィルムをはがして貼り付ける。
	●裏面が平らなスリッパや厚手の靴下での使用は滑る場合があるので注意する。
	●すり足で歩くとマットがめくれる場合があるので注意する。
	●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

5. 構成部品

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。

□ CKM-02

単位：mm



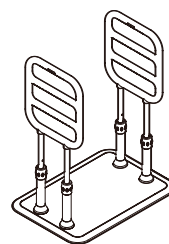
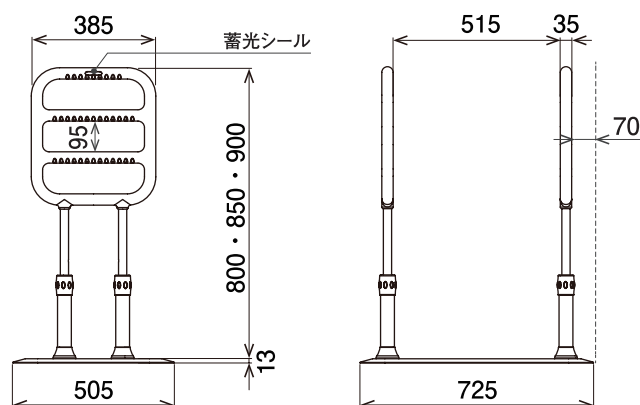
CKM-02 部品表

質量：17.5 kg
最大利用者体重：100 kg

名 称	数量	サ イ ズ
手すりフレームセット	1	手すり $\phi 35 \times 385 \times 808$ mm
ベースセット	1	$725 \times 505 \times 13$ (厚み) mm
マット	1	$635 \times 415 \times 3$ (厚み) mm

□ CKM-02W

単位：mm



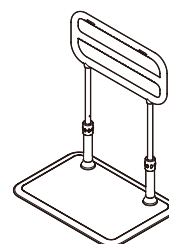
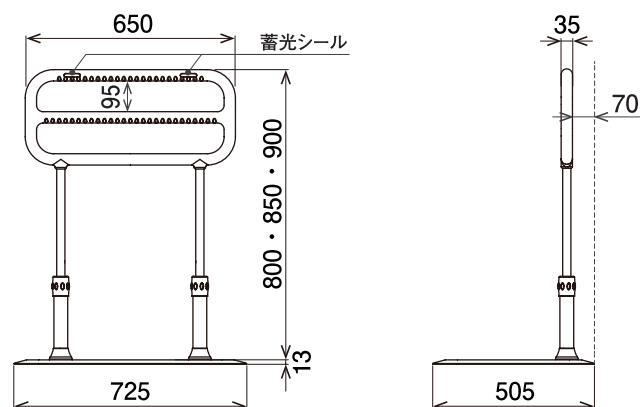
CKM-02W 部品表

質量：22.0 kg
最大利用者体重：100 kg

名 称	数量	サ イ ズ
手すりフレームセット	2	手すり $\phi 35 \times 385 \times 808$ mm
ベースセット	1	$725 \times 505 \times 13$ (厚み) mm
マット	1	$635 \times 415 \times 3$ (厚み) mm

□ CKM-04

単位：mm

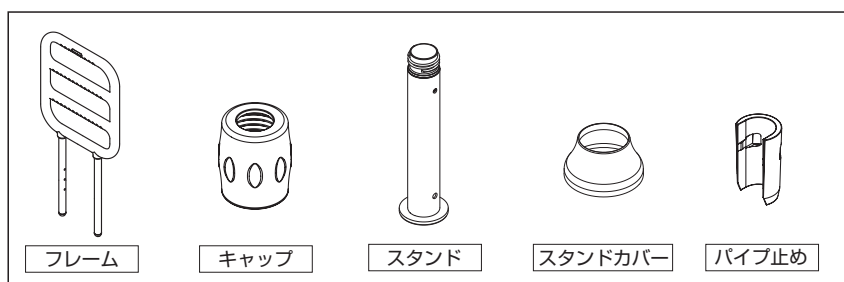
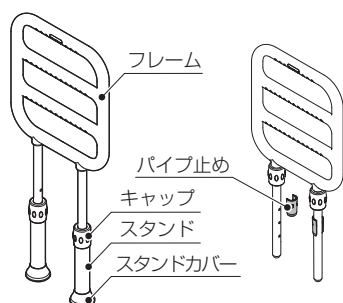


CKM-04 部品表

質量：18.0 kg
最大利用者体重：100 kg

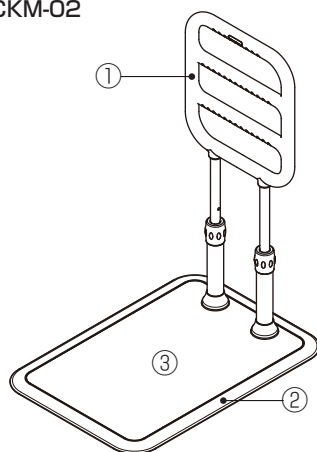
名 称	数量	サ イ ズ
手すりフレームセット	1	手すり $\phi 35 \times 650 \times 808$ mm
ベースセット	1	$725 \times 505 \times 13$ (厚み) mm
マット	1	$635 \times 415 \times 3$ (厚み) mm

●手すりフレームセットの内容

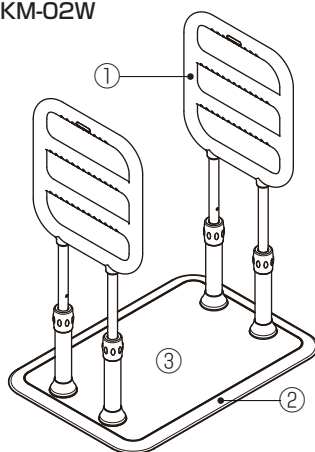


6. 各種部品表

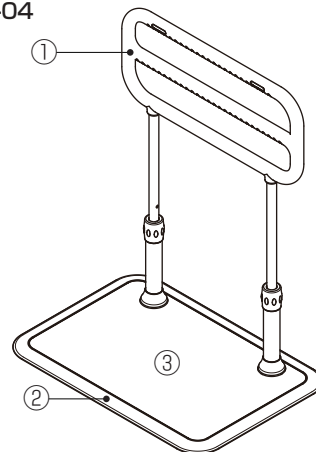
CKM-02

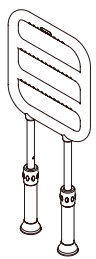
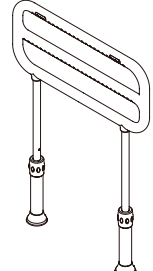
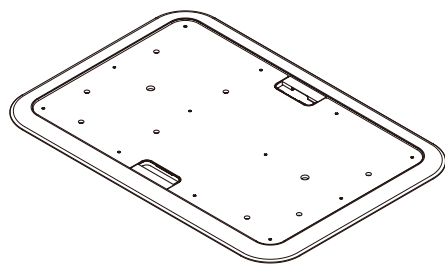
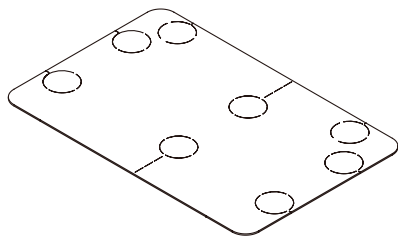


CKM-02W

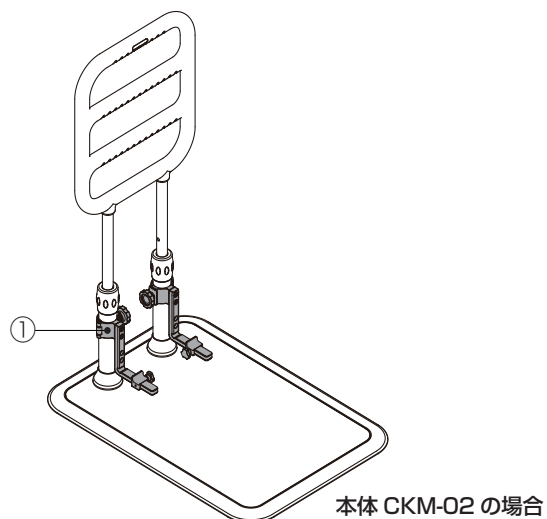
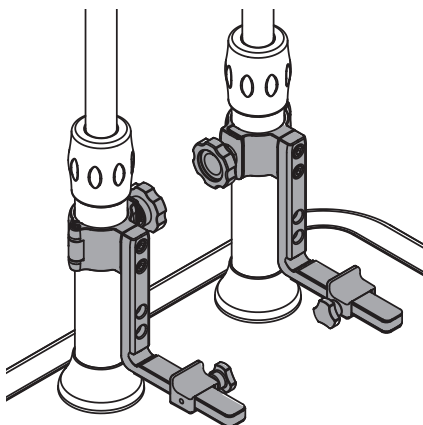


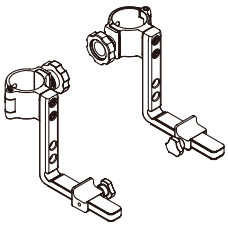
CKM-04



番号	名称	材質	部品図
①	手すりフレームセット	手すり： ウレタン樹脂被覆スチールパイプ スタンド：スチール その他：プラスチック	CKM-02 用 CKM-02W 用  CKM-04 用 
②	ベースセット	ベース板（表面）：スチール その他：プラスチック	
③	マット	ポリエステル樹脂 (吸着部分：アクリル樹脂)	

オプション品のご案内



番号	図	名称	説明
①		ベッドでとまるくん	ベッドで使用する場合に「サムリング」の安定性を向上させることができます。

◇オプション品の詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意



必ず守る

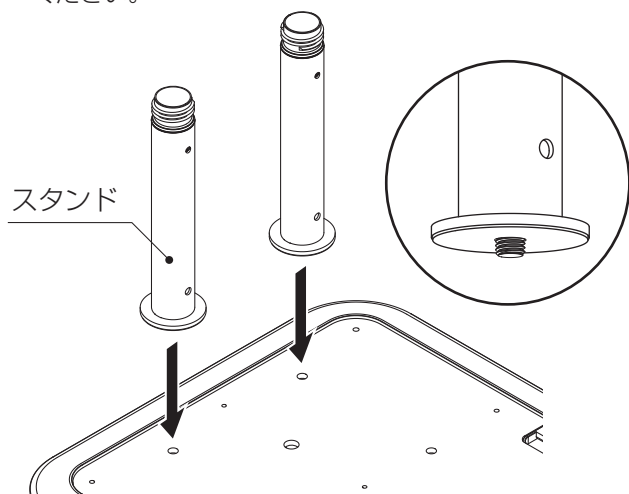
● オプション品を取り付けて使用する場合は、オプション品の取扱説明書も合わせて確認する。

7. 組立手順

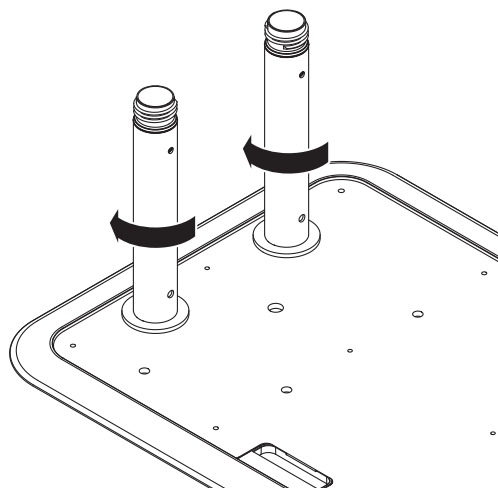
※組み立て、高さ調整は納入業者が行ってください。

●7-1. フレームの取付け

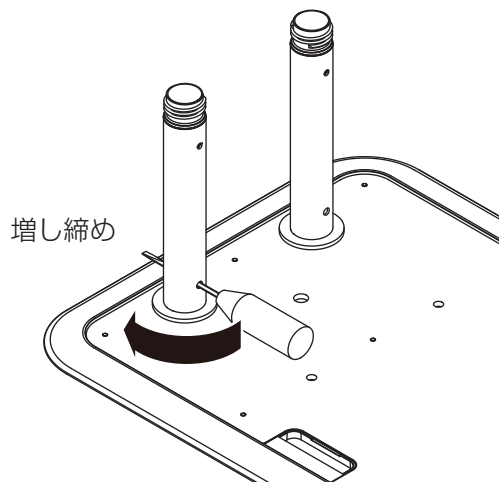
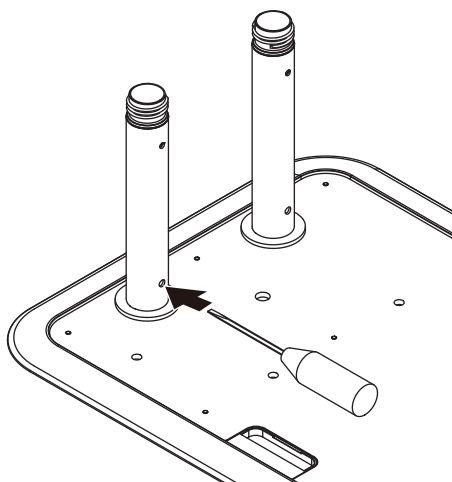
①スタンドのねじをベースのねじ穴の位置に合わせてください。



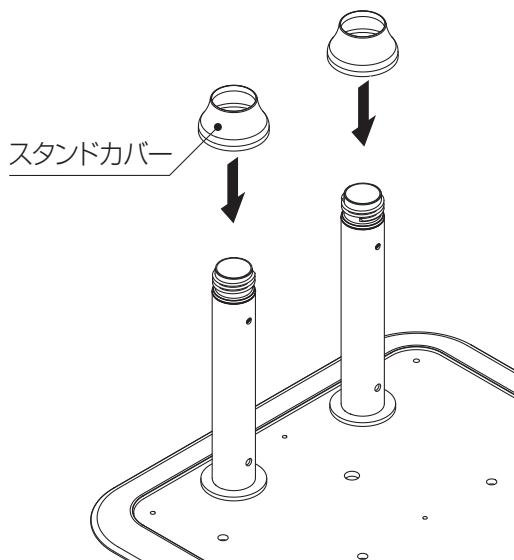
②ねじ穴に合わせたスタンドを手で回してねじを締め付けてください。



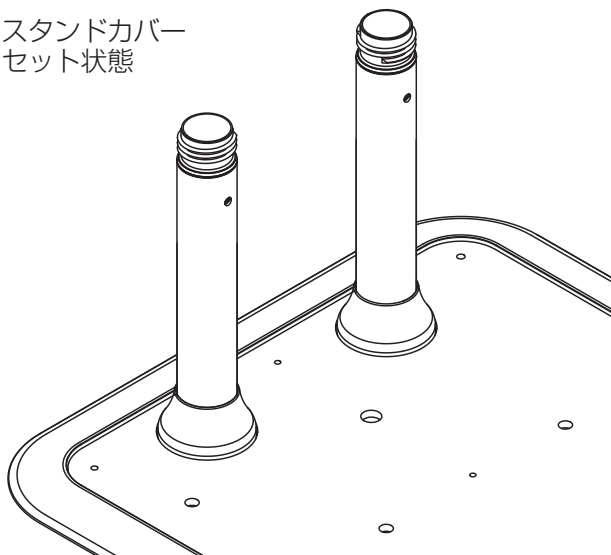
③手で締め付けた後、図に示す穴(穴径φ8)にドライバー、または、丈夫なスチール棒を差し込んで、増し締めしてください。



④スタンドカバーをスタンドの上から通してセットください。

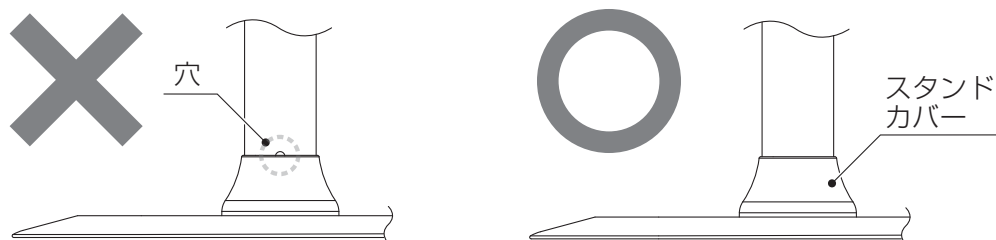


スタンドカバー
セット状態



⚠ 注意

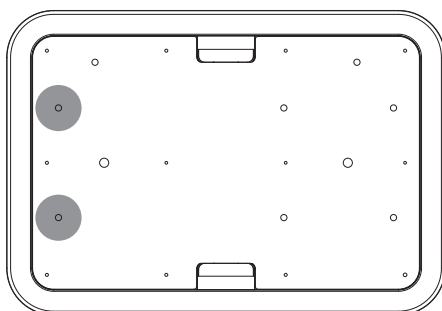
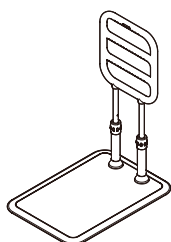
- スタンドは、スタンド側面の穴(下図参照)がスタンドカバーに隠れるまで締め付ける。
穴が見えている場合は、まだ締め付けが不足しています。穴が隠れるまで締めてください。



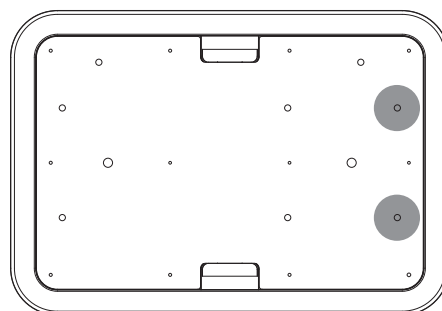
- フレームの位置を確認してスタンドを取り付ける。

本体仕様の種類により、フレームを取り付ける位置が決まっています。ご購入の製品品番のスタンド取付位置を下図で確認していただき、スタンドを正しい位置に取り付けてください。

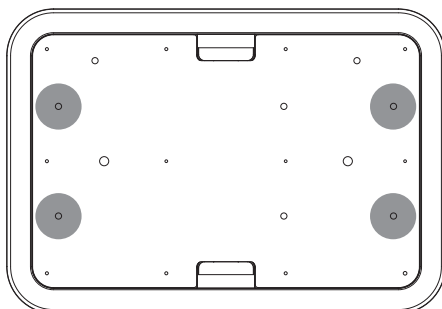
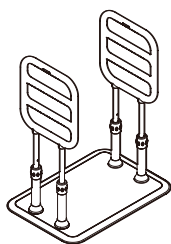
CKM-02



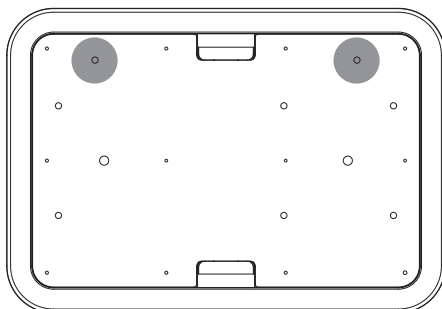
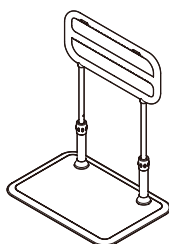
または



CKM-02W



CKM-04

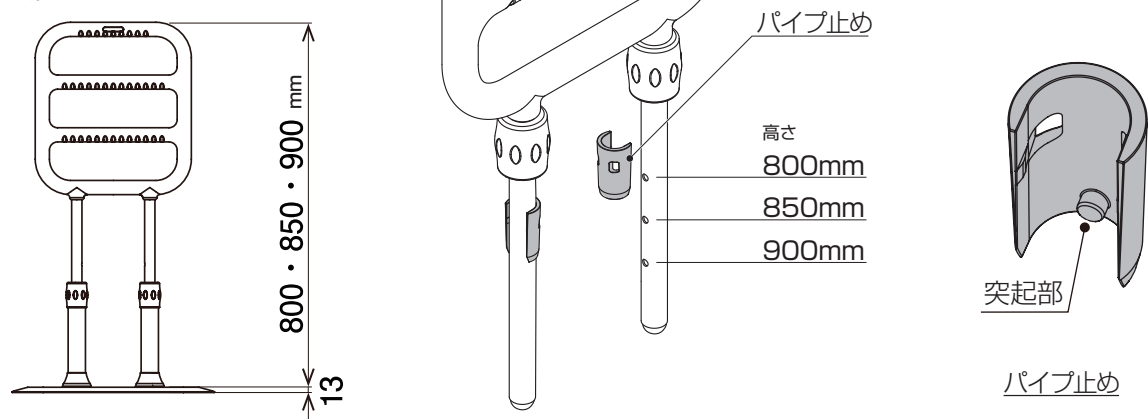


必ず守る

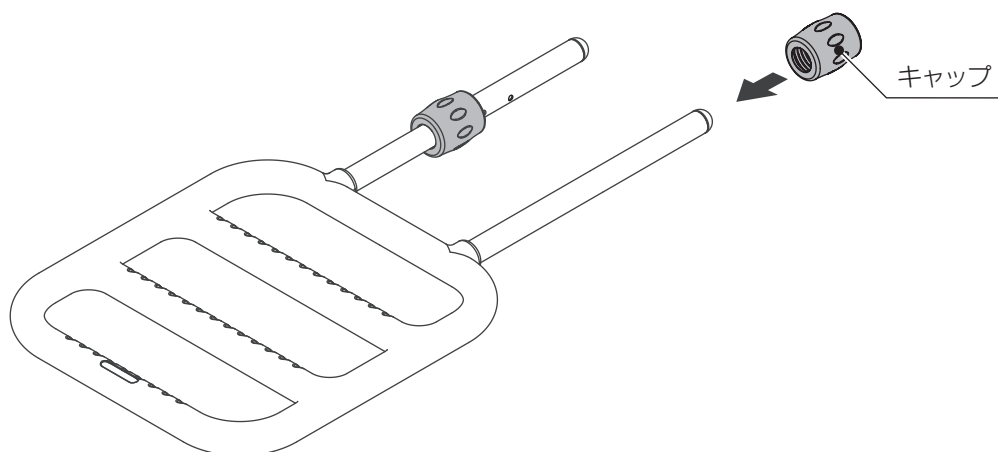
⑤フレームの高さは、ベース面から手すりの上面までを「800mm・850mm・900mm」の3段階に設定できます。下図のように「パイプ止め」の位置により高さが決まります。まずご使用する高さを決めてください。

※組立完了後でも高さの変更をすることができます。P13の■**フレームの高さを変更する場合**をご参照ください。

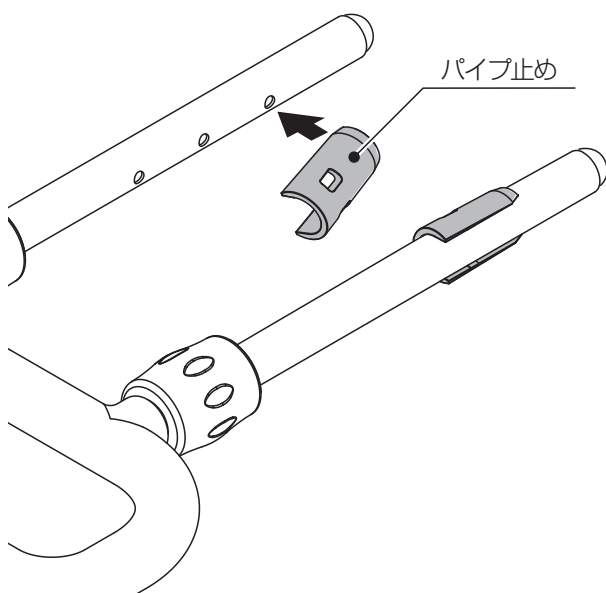
例) CKM-02 の場合



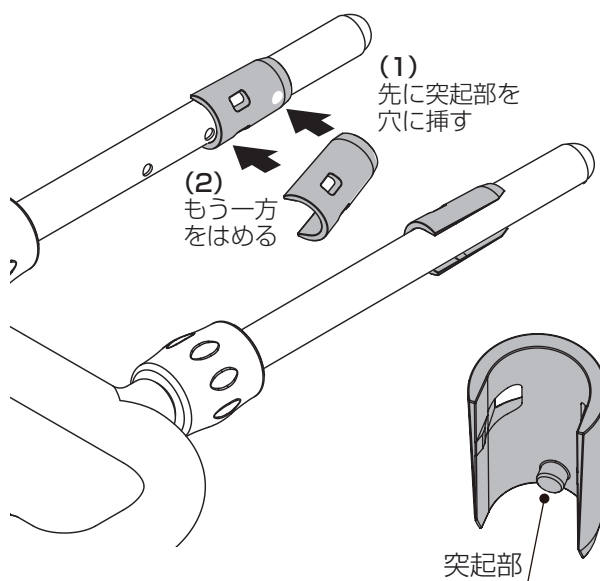
⑥パイプ止めを取付ける前に、まず、キャップをフレームに通してください。



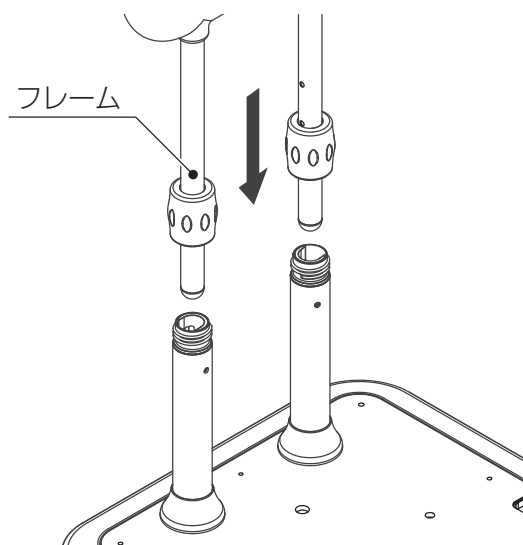
⑦設定した高さに合わせてパイプ止めを取り付けます。下図の位置は、高さ900mmの場合になります。



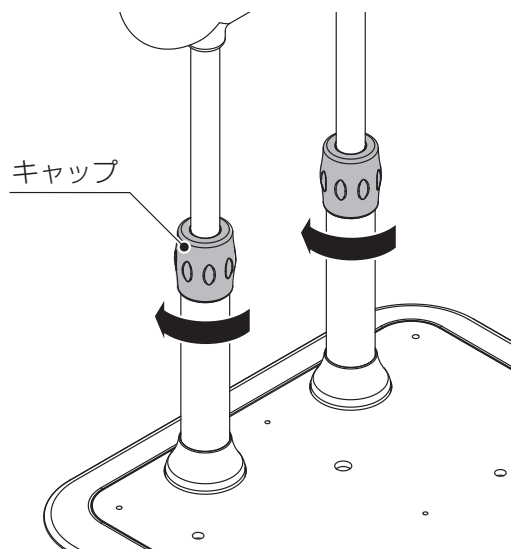
⑧パイプ止めは、先に突起部をフレームの穴に挿すように取り付けてください。(また、パイプ止を外す時は、突起部側から外すと外しやすいです)



⑨パイプ止め2個を取り付けたフレームをスタンドに差し込んでください。

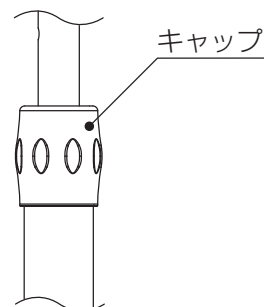
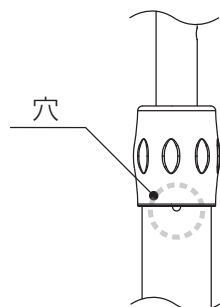


⑩キャップを締め付けて、組立完成です。



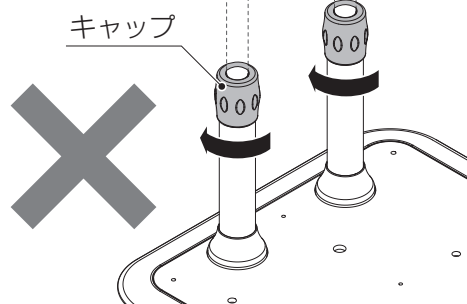
⚠ 注意

- キャップは、スタンド側面の穴(下図参照)がキャップに隠れるまで締め付ける。
穴が見えている場合は、まだ締め付けが不足しています。穴が隠れるまで締めてください。



必ず守る

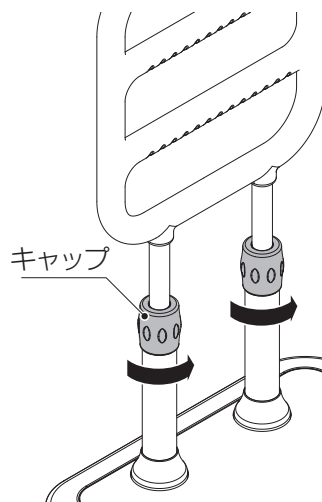
- フレームを差し込んでいない状態でキャップを締めない。
プラスチック部品が破損するおそれがあります。



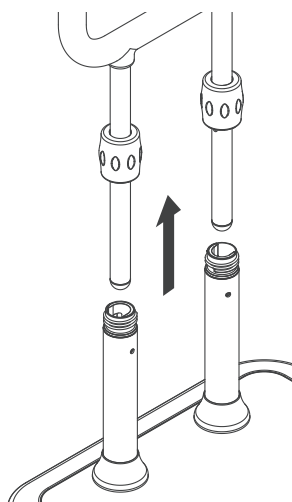
- 組立て後にスタンドにガタつきがある場合は、前項で説明したようにスタンドの穴にドライバー、または、丈夫なスチール棒を差し込んで、増し締めを行う。
スタンドの増し締めは、スタンドからフレームを抜いた状態で行ってください。

■フレームの高さを変更する場合

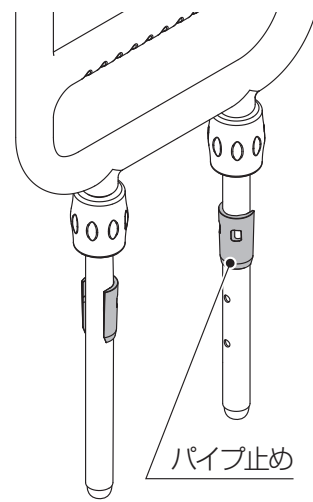
①下図のように2個のキャップを完全にゆるめて外してください。



②フレームをスタンドから引き抜いてください。



③パイプ止めの位置を変更し、組立手順と同様に組立てを行ってください。



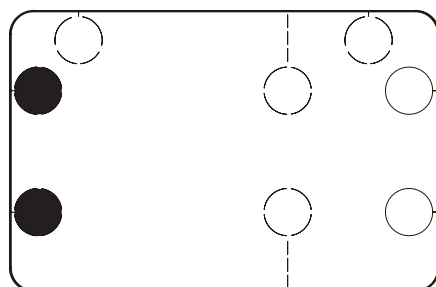
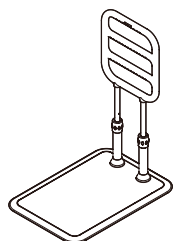
●7-2. マットの取付け

マットの指定位置をカットする作業が必要になります。取り付ける「サムリング」の品番を確認していただき、「切取位置図」で切取位置を確認してから次ページの切取作業を行ってください。

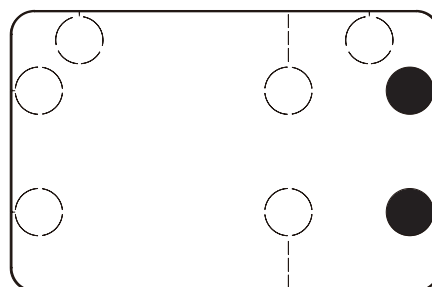
切取位置図

●…切取箇所

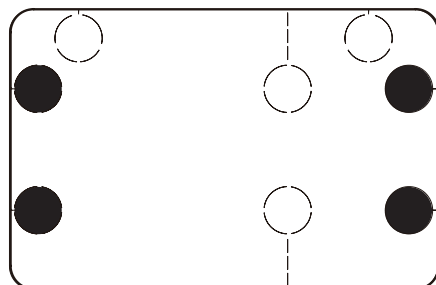
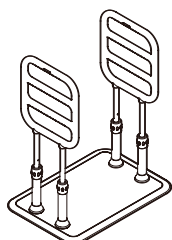
CKM-02



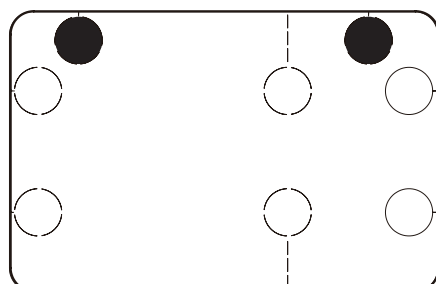
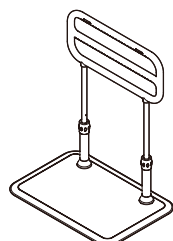
または



CKM-02W

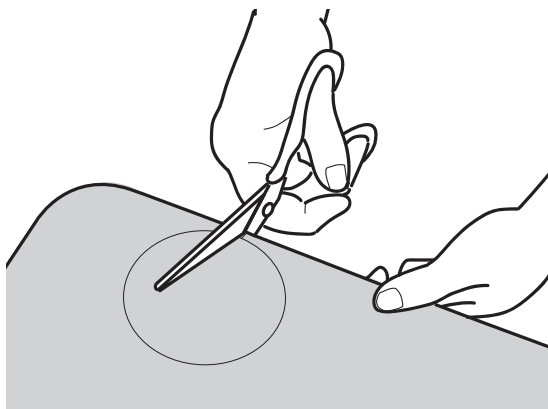


CKM-04

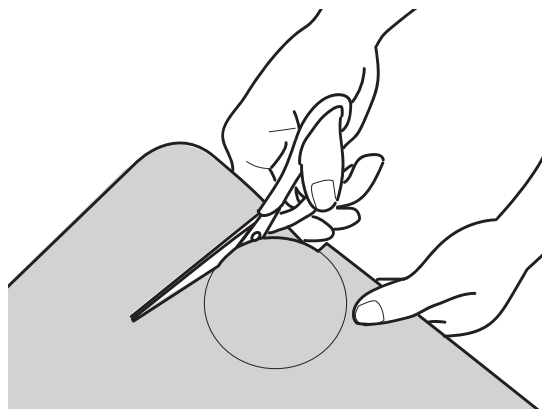


■マットの切取りは以下の手順で行ってください。

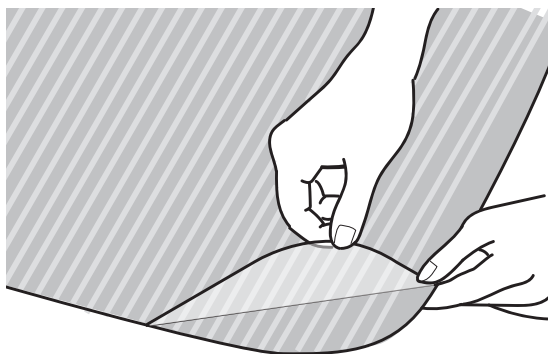
①切取位置図を確認し、スタンド部分の円形に向かってミシン目をカットしてください。



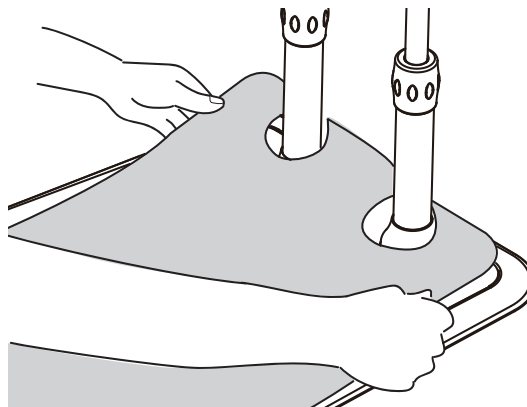
②スタンド部分の円形を切り取ってください。



③マット裏面についている吸着面保護フィルムをきれいにはがしてください。



④吸着面を下にして、切り取った円形とスタンドの位置が合うようにマットをかぶせてください。



⑤マットにシワができないように、手で軽く押さえながら貼ってください。

※寒くなると低温による樹脂の硬化や乾燥などの要因により吸着力が弱くなる場合があります。その場合は、マットの裏面をぬるま湯につけて絞った布で拭き、部屋の温度を暖かくすることで吸着力は復活します。

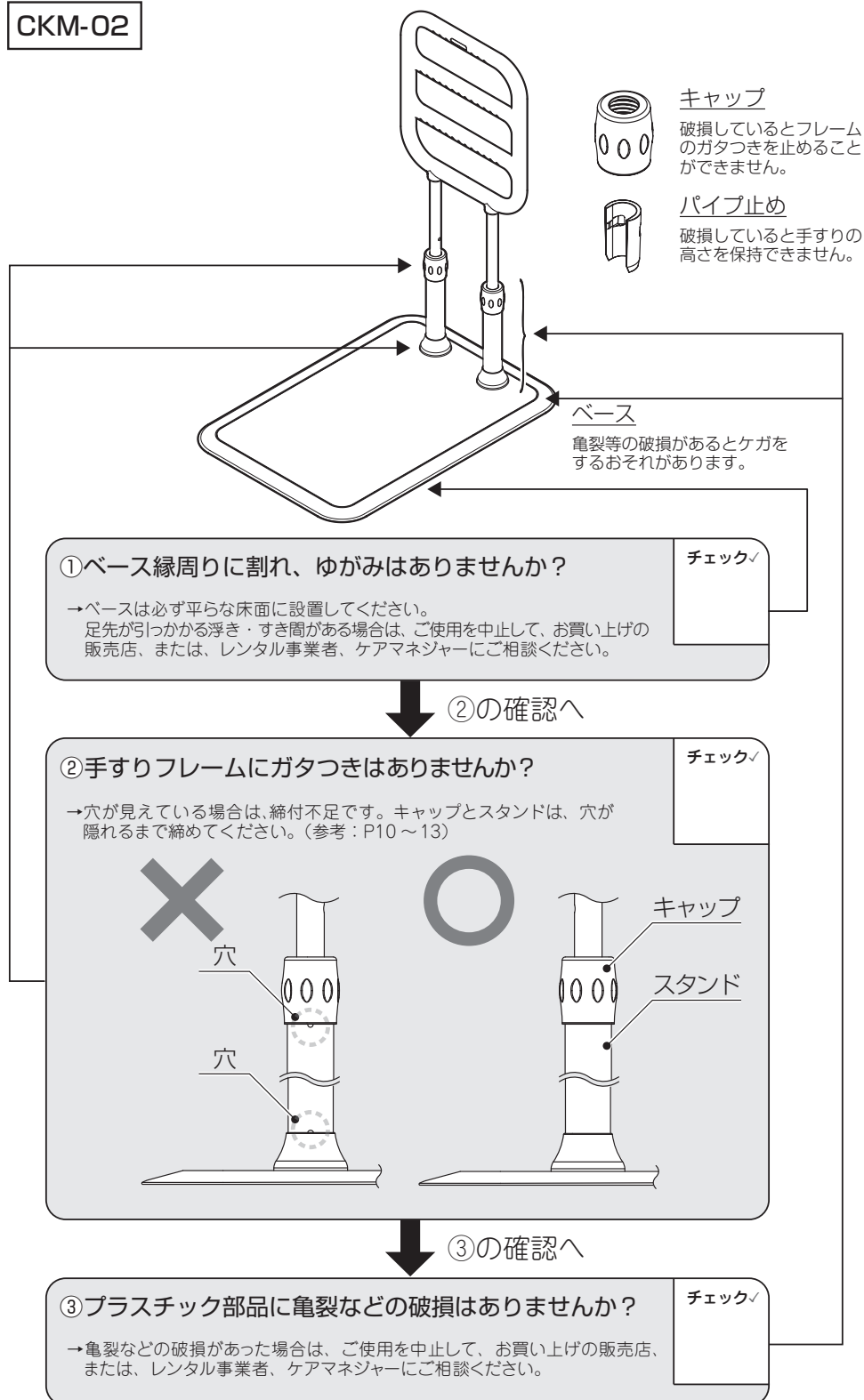


8. ご使用前の確認

！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。

CKM-02



上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

9. お手入れ方法

9-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。
- 水分が残ったまま放置すると、製品に錆が発生する原因になります。濡れた場合は、すぐに水分を拭き取ってください。

⚠ 注意	
 禁止	●酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。 必ず中性洗剤を使用してください。
	●シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	●たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
 必ず守る	●直射日光は避けて、陰干しする。

9-2. マットのお手入れ

- マット表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。
- マットは洗濯することができます。
 - ・洗濯機は弱水流で中性洗剤を使用してください。液温は30℃が限度です。
 - ・乾燥機の使用はできません。
 - ・柔軟剤は使用しないでください。
 - ・塩素系漂白剤による漂白は避けてください。
 - ・洗濯の後は陰干してよく乾かしてから使用してください。
 - ・マットの性質上、洗濯によって縮む場合があります。
- 裏面に埃などが付着するとベースへの吸着力が低下します。その場合洗濯すれば回復します。洗濯しても吸着力が回復しない場合はマットの交換をしてください。
- 寒くなると低温による樹脂の硬化や乾燥などの要因により吸着力が弱くなる場合があります。その場合は、ぬるま湯につけて絞った布で拭き、部屋の温度を暖かくすることで吸着力は復活します。
- 吸着力が強い場合はゆっくりと取り外してください。万一、マット裏の吸着材が付着した場合は、ぬるま湯を浸した布で拭き取ってください。
- 長期間貼り付けたままにしておくと、ベース面に密着することがあります。定期的に取り外して洗濯することをお勧めします。

 液温は30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる	 塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止	 日陰のつり干しがよい
---	--	---

9-3. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	●定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

9-4. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム6%水溶液なら120倍～300倍程度に希釈)

⚠ 注意	
禁止	● オゾンガス・ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
必ず守る	● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。
	● 手すり部をアルコールで強く擦らない。 強く擦ると色落ちすることがあります。

9-5. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。
- ベースは、なるべく平置きで保管してください。
- ウレタン素材について下記に注意してください。
 - ・クッション性に優れているウレタン素材は、使用頻度に関わらず経年変化を起こし、割れ、ヒビ、崩れを起こし、破損するおそれがあります。
 - ・特に通気の悪い場所での長期間の保管は避けてください。
 - ・割れやヒビ、崩れなどの症状が発生した場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

⚠ 注意	
禁止	● ベースはなるべく平置きで保管する。縦置きで保管する場合は、ベースが倒れないように注意する。 重量物のため、倒れてケガをするおそれがあります。また、強い衝撃が加わり樹脂スロープが破損する原因になります。
必ず守る	● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管すると、変形、結合部の外れや、破損の原因になります。

9-6. 長期使用について

- 経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を表示しております。これは、使用開始時期とは異なります。
- 安全使用期間とは、サムリングシリーズが適正な取扱い・維持管理が行われて使用された場合に、安全上支障なく使用できる期間として、製造年月日から想定される期間です。これは、無償保証期間とは異なります。



想定上の安全使用期間 8 年

安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるケガなどの事故に至るおそれがあります。

- 不特定多数の方が使用される施設や病院などで使用される場合は、安全使用期間よりも劣化が早まるおそれがあります。
- 経年劣化とは、長期間にわたる使用や処置の他、雨風・湿気・温度変化・日照などによる品質の低下からくる劣化のことを言います。

[illegible]

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護課
〒072-0007 北海道美唄市東6条北8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙 台 支 店 福祉介護課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関 東 支 店 福祉介護課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)4562 FAX 0276(38)3522

■ 東 京 支 店 福祉介護課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古屋 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静 岡 支 店 福祉介護課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大 阪 支 店 福祉介護課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広 島 支 店 福祉介護課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九 州 支 店 福祉介護課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

23052408

DW-298-01